

平成28年度新作立佞武多

歌舞伎創生

出雲阿国

市は、10月20日、来年の新作立佞武多を発表しました。

題名は「歌舞伎創生 出雲阿国（かぶきそうせい いずものおくに）」。

制作者の齊藤忠大技師は「立佞武多がますます発展する願いを込めるとともに、困難に立ち向かう不屈の精神を表現したい」と話しました。

新作立佞武多は来年7月下旬完成予定です。

新作立佞武多解説

「出雲阿国」は、安土桃山時代の女性芸能者である。

はじめは、諸国の寺社境内で、勧進のため舞いを奉納していたが、自分の踊りを喜んでくれる里や町の人々のために踊ることの大切さを悟っていく。後に、少女による小歌舞踊り

「ややく踊り」を基にして、「かぶき踊り」を創始したことで知られるようになり、それが様々な変遷を経て、現在「世界無形文化遺産」に指定されている歌舞伎が出来上がることになる。

不安感や閉塞感が、巷に蔓延する乱世の世でありながら、人々の笑顔を作り上げていく、優しくも気丈な阿国の姿は、現代社会の様々な荒波に立ち向かう女性像を彷彿させる。

場面は、阿国がかぶき踊りを舞っている姿。背景の大きな番傘は、見送りに表現する歌舞伎大人気の演目「助六」がさしているもの。

立佞武多が巨大灯籠復活の源流として、益々大入りすることへの願いと、困難に立ち向かう日本人の不屈の精神を表現している。



新作立佞武多
「歌舞伎創生 出雲阿国」

一緒に楽しみませんか 老人クラブ会員募集

老人クラブは、おおむね60歳以上の方の生活を健全で豊かなものにするとともに、福祉の増進を図るために活動しています。

市には現在90クラブあり、それぞれ独自に活動しているほか、連合会を結成し、イベントを行っています。

興味のある方は、お問い合わせください。

問：五所川原市老人クラブ連合会

TEL(38) 3022



合同金婚式の様子

11月6日に行われた、五所川原老人クラブ連合会と金木老人クラブ連合会の合同金婚式では、金婚式を迎えた32組の夫婦のうち、出席した22組の夫婦に平山市長から50年の節目を祝う顕彰状が手渡されました。

ご活用ください 生き生きセンター

生き生きセンターは、市民の健康増進と福祉の向上を図るための複合施設として、市民総合健診の実施や高齢者の方々を対象とした入浴サービスを提供しています。

入浴施設は毎週火曜、木曜、土曜日（祝日、年末年始を除く）の9時から17時まで、市内在住の60歳以上の方が利用できます（利用料350円/週1回まで無料）。健康のため、交流のため、生き生きセンターをご活用ください。

問：生き生きセンター

TEL(33) 5432



友の会による収穫感謝祭

利用者で組織する「生き生きセンター友の会」（松橋金明会長）は、センターを活用してイベントなどを行っています。

11月14日に開催された収穫感謝祭では約120名が参加し、食事しながら、利用者の演芸や展示作品などで楽しみました。